

ともに生き、支えあうまち

台原地区社協だより

第 27 号

令和6年10月21日発行

台原地区社会福祉協議会

発行責任者

台原地区社協だより編集委員会

新会長 ご挨拶

台原地区社会福祉協議会 会長 村岡 貴子

この度、台原地区社協の会長になりました村岡貴子です。
臨時総会で、会員の皆様から会長のご承認をいただきましたことに御礼申し上げます。

初めての経験で、戸惑いながらも会長の職務を遂行しています。
地域福祉のために、これまでの経験と知識を活かし、台原地区の地域福祉が充実するように、しっかりと取り組んで参ります。
様々なご意見があることと思いますが、是非ここをくださいいただき、地域福祉のためにご協力をお願いいたします。



福祉委員 × サロン活動 = 世代間の 顔の見える 関係づくり

台原地区地域福祉活動推進員 高橋 洋子

日頃の福祉委員、サロン活動へのご理解とご協力に感謝いたします。
福祉委員の主な活動は、地域の要支援者等の安否確認・生活支援です。
活動の中には、地域の各サロン活動への積極的参加があります。
現在、10の団体がサロン活動をしておりサロン毎に企画運営をしています。
これまで、サロン活動の対象者は、主に地域の高齢者でした。
昨今、子ども会がなくなる地域が多くなり、子どもや保護者達を交えたサロン活動を展開する地域が増えています。
サロン活動では、年齢を問わず、ご近所の方々の顔がわかり、言葉を交わすことで、今まで気付かなかった地域の課題・解決策が見えてきたりしています。
また、近年、増えている自然災害への備えを考える場としても、サロン活動が大きな役割を担っていると感じています。
今年度より、サロン活動を新たに始める団体も増え、今後益々、地域の方々のつながりが充実すると考えています。
地域全体へサロン活動が広まればと想い、日々の福祉活動を推進しています。

・・・*・・・*・・・ ちょっと紹介 ・・・*・・・*・・・

福祉委員連絡会を、2回／年開催し、主に、研修と福祉委員間の意見交換をしています。

研修では、身近な話題をテーマとしており、意見交換では、各福祉委員の向き合う小さな福祉課題を全員で共有するようにしています。



あおささ会 「夏祭り」 開催しました！

北根地区親和会 会長 山田 直樹

7月21日（日）午前10時から北根地区親和会集会所において夏祭りを開催しました。

事前に、案内チラシの回覧と、スタンプラリーカードを配布したことは、会員の皆さんには、好評だったようです。

おかげで多くの親子連れや友人仲間を誘っての参加があり開催者も驚くほどの大盛況でした。まだ梅雨明け前ですが、好天に恵まれたことで、夏祭りがより一層盛り上がりを見せました。

子供から大人まで一緒に楽しめるゲームは、集会所の中で行われました。

「なぞなぞ」では、問題に頭をひねって答えを出す親子連れ、

「わなげ」を競って楽しむ姉弟や姉妹たち、

「くじびき」では、1等・2等を引き当てた強運な姉弟、

「七夕かざり」では、子供のころを思い出しながら、飾り付けを楽しむ友人仲間、

各コーナーでは、景品をゲット、笑顔と笑い声が溢れていました。

外の駐車場には「水風船」のコーナーを設けました。

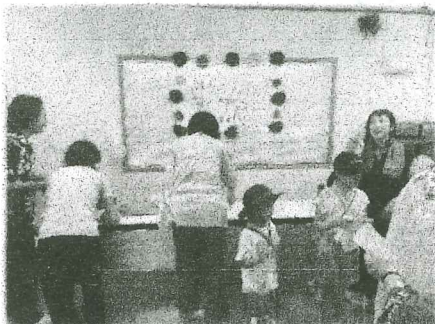
プールに浮かべた水風船を手に取り、的をねらって投げつけ、風船が割れて、水が飛び散る爽快感！！日頃のストレスを発散できます。

水風船の的当てを競っていた姉弟、最後には仲良くプールに入って水遊びが始まりました。

今回の「夏祭り」の大盛況を受けて、忙しい中、準備をしていただいた関係者の方々は、結果に大変満足しており、皆さんのために次の企画を考え始めているようです。

次回がまた楽しみです！

・・・＊・・・ 笑顔 笑い声 溢れる瞬間 ・・・＊・・・



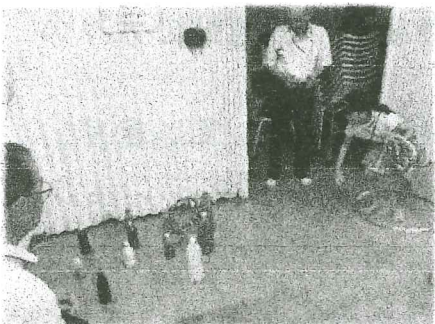
「なぞなぞ」コーナー



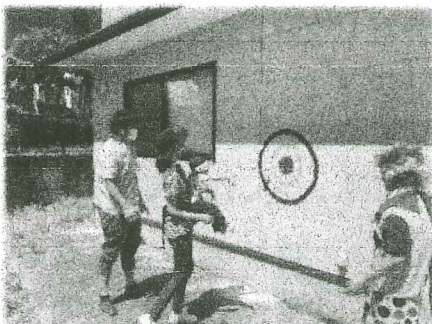
「くじびき」コーナー



七夕かざりを作りました！



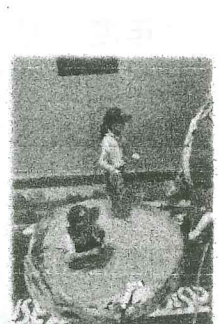
「わなげ」に挑戦！難しい！



水風船でストレス発散！



フォーム最高！



夏はやっぱりプールだわ！

瓦山町内会婦人部 月例会報告 NO.155

瓦山町内会
会長 村上 一彦
婦人部 佐々木 恵美子

2024.8.1

今年は辰年 132年前の1892年 辰年、辰の月、辰の日、辰の刻に
生まれたことから龍之介といふ名付けられた
作家芥川龍之介 その後の後の進境

小学校三年生の頃 美しいものを挙げる課題を出された
同級生は花・富士山・朝日などを挙げたが
僕は美しいと思ふものを雲にしました

それは僕には真実だった
しかしそれは生憎先生の気に入らなかった
「雲などの」が美しい、こうたしなめられた後

先生は僕の答案用紙に X印をつけた

芥川は幼少の頃から感受性が豊かで

「自分の美」をはかる「物差し」を持っていた

紙手・分り易い・高価・選びやがたなものではなく

移ろひゆくながい消えてゆくもの

形が変わりゆくものに美を見出し出していた

急速な西洋化のなかで身近に在った日本文化が

気付かないうちに消えてゆく不安

血脈に流れる遺伝すゝかも知れない病への不安

それらも手伝って「ただぼんやりとした不安」を抱いて

35歳で没した

教育者に限らず親に限らず幼少者たちの

心情の露を汲み取り目を見て耳を傾ける

昨今の急激な変化に流されることなくおとな役目である

8月の月例会は
21日です

婦人部で東日本大震災後から

顔の見える町内会をめざして

月一回の茶話会を開いて

活動して来ました この四月で

151回を迎えました この活動が

社会福祉協議会より「サロン活動」として

認められ助成金を頂戴しました

これを活用して、えんそくを企画し回覧

4月29日(月) リニューアルオープンした

仙台市博物館へ地下鉄とる-3子バスで

見学に行きました 16名の方々が参加

ありがとうございました

雲

こんにちは 福祉委員さん

親切な心 と 距離感 と ○○○ と

福祉委員 桑村 恵子

晩秋のある日、ご近所の地域福祉活動推進員さんから福祉委員の活動を一緒にしないとお声をかけられました。

前任者の退任などもあり、福祉委員をお引き受けすることに。福祉の、言葉の意味を、ずーっと考えながら活動しています。福祉（ふくし）は、その頭文字から、

「ふだんの 暮らしの しあわせ」との意味があるそうですね。

私は、福祉（ふくし）の（し）は、親切な心とも考えています。

普段から、親切な心を持ち続けたいです。

活動で大切にしていることは、要支援者等との距離感。

要支援者とご家族のお考えやお気持ちを尊重し活動しています。

生活支援活動には、付き添い、ごみ出し、除雪等があります。

要支援者の中には、実の両親のようにあたたかく接してくれる方々もいます。

優しさにつつまれて、ところが、あたたかさでポカポカになります。

要支援者との急な別れもあり、悲しい気持ちで、落ち込んだりもします。

これらを糧に、適度な距離感をたもち、寄り添い続ける活動をしたいです。

言葉にはできない、もっと伝えたい気持ちをおさえながら寄稿します。



福祉委員

・・・＊・・・ 編集作業 ひとコマ ・・・＊・・・

編集作業では皆様の協力を得ました。

要支援者を支援する私もまた、まわりから、支えられている、と思った瞬間です。



令和5年度 会費・協力金 ありがとうございました。

令和5年度台原地区
社会福祉協議会会費
844,000円

令和5年度台原地区
赤い羽根共同募金
725,500円



aiちゃん

仙台市社会福祉協議会
地域福祉活動計画
応援キャラクター！

編集後記

台原地区社協だよりの発行に関わった、すべての方々へ御礼申し上げます。

「ともに生き、支えあうまち」へ向かうには、地域の皆様の相互理解と相互協力が大切ではないでしょうか

今回、台原地区社協の基幹事業の小地域ネットワーク活動である、福祉委員、サロン活動を中心に紹介し、台原地区社協の活動の見える化に努めました。

今後も、台原地区社協へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

編集委員長 台原東部連合町内会 会長 鈴木 茂